

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1年	2	必修
担当教員			
岩下 千恵子			
授業のねらい（概要）	この演習は、観光関連のテーマに基づき、修士論文を作成するために必要な基礎的な知識をつけ、自らが設定した研究プロジェクトを的確にマネジメントすることができる力をつけることを目的とする。前期は、研究論文作成のスタートに不可欠である、研究計画書の書き方や研究方法・分析方法について学び、後期は研究テーマを設定した上で、前期に学んだことを基礎として、研究の進め方を実践的に学ぶ。		
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 年間スケジュールの確認、修士論文についての説明を行う。</p> <p>前期 研究倫理とは 研究計画 研究文献資料収集 ・研究倫理について理解した上で、研究計画の立案・研究計画書の書き方を学ぶ。 ・研究テーマにもとづく、文献・資料検索を行い、資料・情報収集を行う。 ・研究方法と分析方法の基礎について学ぶ。 予習（時間）：研究倫理について、研究計画の立て方、研究調査の方法と分析方法（900分） 復習（時間）：研究倫理について、研究計画の立て方、研究調査の方法と分析方法（900分）</p> <p>後期 研究テーマと論文構成決定 研究成果報告 ・論文のテーマ、問いを確定させ、論文の構成（章立て、レイアウト）を決定する。 ・研究方法を決定し、調査（データ収集）を実施する。 ・先行文献のレビューをする。 ・論文の中間報告をする。 予習（時間）：先行研究のレビューと論文中間報告のための準備（1800分） 復習（時間）：執筆した論文箇所の推敲（1800分）</p>		
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	この科目は、DP（商学研究科）に記載のある以下の項目を意識したものとなっている。 ・調査、研究のために必要となる様々なスキルを身に付け、企業や産業が直面する諸課題に対し高度な判断能力、分析能力を活用できる。		
到達目標	①マネジメント能力を身に付け、研究プロジェクトを自ら管理し、期限内に遂行することができる。		
課題や小テスト等のフィードバックの方法	執筆した先行研究のレビューはコメントを記して返却する。		
履修上の注意	観光をテーマに研究するという事は、観光学あるいは関連分野の学問から複数の視点を用いて研究することになるが、その中でも核とする社会科学の分野を自ら決めること。		
成績評価の方法・基準	①修士論文作成へ取り組む姿勢や態度（20%） ②研究プロジェクトの計画書（20%） ③成果報告（60%）		
教科書	プリントを配布		
参考書・教材	【教材】テキスト、参考書は研究テーマにあわせて、適宜指示する。		
備考	演習科目		
教員との連絡方法	メール（アドレスは授業内で周知する）		